

令和5年度 年間授業計画

都立田無工科高等学校

教科・科目	地理歴史 地理A		単位数	2
対象学年・組	3学年全クラス	教科担任	MA:細野 MB:細野 AA:細野 AB:細野 CA:細野	
教科書 ・ 副教材	高等学校 新地理A・標準高等地図-地図でよむ現代社会 なし			
1. 目標 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
2. 学習内容と学習上の留意点				
学期	月	単元	指導内容・指導目標	予定時数
1 学期	4	地球儀や地図からとらえる現代世界 ●地球上の位置と国家	地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付けさせる。	5
	5	●グローバル化が進む世界	国家間の結び付き、日本の位置と領域などを学びながら国際的かつ世界的なひろい視野で世界をとらえる。	6
	6	人間生活を取り巻く環境 ●人々の生活と地形と気候	地球的な自然環境を地形と気候から概観する。その上で世界の各地域では自然環境によく適応しながら人々の生活・文化が成立していることを学ぶ。わが国については自然災害についても取り上げる。	8
	7	●人々の生活と産業・文化	貿易、交通・通信、観光の観点に加え、第一次産業、第二次産業を超えて、世界各地の産業・文化を理解する。	4
1学期授業時数計				23
2 学期	9	世界の諸地域の生活・文化 ●中国と韓国の生活・文化	わが国の隣国として歴史的に深く関係してきた中国と朝鮮半島についてグローバルな視点と生活・文化の身近な視点の両面から認識を深めさせる。共有する部分と異質な部分との対照をみつめる。	8
	10	●東南、南アジアの生活・文化	仏教などの伝統的な側面と、近年の急速な経済発展の両面から、わが国と関わりの深いこの地域の多様性を学ぶ。	8
	11	●ヨーロッパ、ロシアの生活・文化	19世紀にアジア・アフリカを席卷した産業・経済を生み出した合理的な生活・文化を歴史的な視点も取り込みながら多彩なこの地域を概観させる。	6
	12	地球的課題と私たち ●複雑にからみ合う地球的課題、環境問題	環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題など一国では理解しきれない地球的な課題について幅広く概観していく。	6
2学期授業時数計				28
3 学期	1	●人口、食料、都市問題 身近な地域と読図	12月に引き続き地球的課題を取り上げて、さらに時事的な問題をも加えながら、卒業後も生きる地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付けさせる。	4
	2	卒業考査		3
	3			
3学期授業時数計				7
年間授業時数合計				58
3. 評価の観点・方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の得点で学習の理解度を評価する。 ・授業態度、小テスト、プリントやノートなどの提出物について、授業の取り組みを評価する。 ・1、2学期は学習内容の理解度を7割、授業の取り組みを3割で成績をつける。 ・学年末は1、2学期の成績を踏まえて、総合的に3割以上で単位修得を認める。 				